

これからの教育(令和の日本型学校教育)と
教師に求められる資質・能力

みらいの義務教育と子どもたちの学び ～教科担任制から考える「授業づくり・学級づくり」～

2021年1月にこれからの学校教育のあり方について、中央教育審議会から『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」が答申されました。この答申では、小学校高学年からの「教科担任制」導入の必要性等が示されています。

本シンポジウムでは、様々な分野の知見を通して授業づくりと学級づくりの今後について、ひいてはこれからの義務教育と子どもたちの学びについて、皆さんとともに考えます。

シンポジスト



初田 幸隆 氏

京都市教育委員会学校指導課 参与
元 京都教育大学 教授
東山開晴館初代校長(元中学校教員)



榊原 禎宏 氏

京都教育大学教育学部 教授
京都教育大学教育創生
リージョナルセンター機構長



赤松 大輔 氏

京都教育大学教育学部 講師

参加
無料



プログラム

趣旨説明

シンポジスト
発表

初田 幸隆 氏

【教育実践】教科担任制に係る学校の実態
児童生徒の実態を踏まえた教科担任制導入に
関する学校の現状と課題

赤松 大輔 氏

【心理学】子どもの発達段階の今
子どもの発達段階の捉え方はどう変わってきて
いるのか
認知面と非認知面の発達

榊原 禎宏 氏

【外国の事例から】
ドイツにおける学級担任の原則
ー児童生徒にとっての教員の「専門性」ー

シンポジスト
対談

参加者との意見交換も行う予定です

2021.
11.20
(土)

オンライン
ライブ配信にて開催

時間:
10:00~12:00

定員:100名

主催



教育創生リージョナルセンター機構
教職キャリア高度化センター

問い合わせ先

京都教育大学研究協力・附属学校支援課
研究協力・センター機構支援グループ

075-644-8302
kenshien@kyokyo-u.ac.jp

お申し込み方法等詳細は
裏面をご覧ください

お申込み方法

- 本シンポジウムは、京都府・市公立学校関係者、その他全国の教育関係者、本学教職員、本学学部学生、大学院生等を対象とします。
- 参加をご希望の方は、**2021年11月11日(木)**までに申し込みをしてください。定員に達し次第受付を終了いたしますので、お早めにお申し込みください。
- 申し込みはGoogleフォームにて受け付けます。**
下記URLにて必要事項(氏名、ふりがな、所属、役職、電話番号、メールアドレス)を入力して申し込みを行ってください。

申し込みフォームURL：<https://forms.gle/tQ99hqcvA6hYquTY7>



二次元バーコードはこちら→

- ご提供いただきました個人情報は、本シンポジウムの運営に関して必要がある場合のみ利用します。ご本人の同意を得ずに、個人情報を第三者に提供することはありません。

開催日までに確認等をお願いすること

- シンポジウム開催の3日前までに、申込時にご入力いただいたメールアドレスへ配信視聴に必要なURL等の情報をお知らせしますので、ご確認ください。配信方法は、オンラインのライブ配信を予定しています。
- 視聴に必要なパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかとオンライン通信環境をご用意願います。職場のパソコン、タブレット、スマートフォンおよび通信環境を利用される場合は、職場のセキュリティ設定や利用ルールにより接続できないことがあります。事前に職場の情報管理者等へ確認や許可を取っていただくようお願いいたします。
- シンポジウム視聴用URLは他の方に教えないでください。
- 肖像権・著作権の関係から、講演会の録画または録音をお断りします。また、SNSやブログ、ネット掲示板(もちろんリアル掲示板も)等へ掲載しないでください。